



2012.2.5

No.217

MONTHLY

れんごう

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

出村 良平

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ぼくろうビル6F TEL(011)210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

地公三者共闘会議 全道昼休み総決起集会開催

人件費削減によらない道財政再建・地方財政確立を

道職員の2012「1月闘争」の交渉ヤマ場を27日に控え、1月26日、地公三者共闘会議(全道庁労連、北教組、自治労道本部)の全道昼休み総決起集会(約1,500人参加)が、道庁東側前庭で開催された。集会には連合北海道札幌地区連合の産別(単組)の組合員も激励に駆けつけた。

1999年の道財政非常事態宣言が出されて以降、3,108億円にものぼる道職員の人件費や削減が行われてきたが、道財政はいっこうに改善の見通しが立っていない。全国一長い、13年間にも及ぶ人件費削減により、道職員の賃金水準は全国44位、人事委員会が調査対象としている道内民間労働者と比較しても月26,000円以上低い水準となっている。この長期間の独自削減で生活は限界に来ており、なおかつ地方公務員の人件費削減は民間労働者への賃金引き下げにもつながり、消費の落ち込みによって道内経済を疲弊させている。

集会では、連合北海道を代表して出村事務局長が「働くことを軸とする安心社会の実現に向けて、すべての労働者の待遇を改善する2012春季生活闘争に取り組む中、人件費削減によらない道財政再建・地方財政確立にむけた道民運動を展開していく。」と連帶の挨拶を述べた。その後、民主党北海道の岡

田幹事長から激励の挨拶を行った。

集会の後、連合北海道、石狩地域協議会は、13時30分～14時45分の間で、札幌駅周辺にて、地公三者共闘会議を中心とする組合員と共に、街頭宣伝行動を実施した。

応援に駆けつけた勝部道議(江別市)、向井道議(札幌市北区)、松山道議(豊平区)、伊藤道議(厚別区)、道下道議(西区)たちから市民に対し、人件費削減によらない道財政の再建・地方財政確立と「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざした2012春季生活闘争勝利を訴えた。

また、連合北海道、各地協(地区連合)段階で、1月16～20日の集中期間を設け、全道街頭宣伝とチラシ配布行動を展開するとともに、知事・教育長、14総合振興局長等に対する要請行動を行い、道財政再建・地方財政確立を求めた。

今後、連合北海道は1月27日の石狩、檜山地域協議会での春季生活闘争討論集会を皮切りに、全道13の地域協議会で2012春季生活闘争勝利を目指した集会を開催していく。

〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012012601_chikou-shukai.html



全国初!「連合就活応援セミナー」第2弾を開催

前回に引き続き、就活中の多くの学生が参加

連合北海道は、昨年12月5日に全国初の試みとして開催し、好評を得た「連合就活応援セミナー」の第2弾を、1月16日、道内の学生などを対象に札幌市内で開催した。就活中の学生にタイムリーな内容が凝縮された今回のセミナーには、前回参加したリピーター学生も多く集まり、約200名が参加した。

司会進行は、アナウンサー志望の小樽商科大学商学部3年の鈴木郁美さん。素晴らしい進行ぶりを發揮した鈴木さんもまた、前回のセミナーの参加者である。

冒頭、出村連合北海道事務局長は「学生の皆さんには、就職活動を通じて人として成長していただきたい。働く先輩として、少しでもお手伝いできればという気持ちを込めて開催した」とあいさつした。

続いて、渋谷文武(株)キャリアセンター代表取締役が、第一部「マインドマップ内定術2 第一志望の会社から内定をとる方法」と題して講演を行った。

道内でも人気No.1の就職講師である渋谷氏の講座は、前回から大好評である。参加者全員に対して、志望企業の攻略方法について、考える時間や話し合う時間を与えながら、内定を取るためにノウハウを伝授し、セミナー終了後のアンケート結果では、参加した学生の9割以上が「満足した」と答えた。

セミナー後半は、第2部「会社人事からは絶対聞けない!業界の裏話が聞ける、働く側からの本音トーク」と題してパネルディスカッションを行った。前回同様、石井耕北海学園大学教授をコーディネーターとして、マスコミ、小売業、市役所、銀行の4業界の労組役員がパネル討論を行った。就活中の学生の関心が高い、賃金や就労時間、一時金、研修、転勤、有給、福



利厚生等についても、ざくばらんに話した。「同僚とどのように付き合えばよいのか」、「育児休暇制度はあるのか」など、会場とのやりとりもあった。

今回のセミナーにおいては、開演前に、アドバイザーコーナーも設置。アドバイザーとして9つの職種の労組役員が、多くの学生に囲まれながら質問を受けた。

次回、第3弾は、3月21日に開催予定。今回参加した学生のほとんどが「次回も参加したい」という意向を示している。

[〈この記事のアドレス〉 \[http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012011601_syuukatu.html\]\(http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012011601_syuukatu.html\)](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012011601_syuukatu.html)

セミナー後のアンケート 主な意見・感想など(原文のまま)

1. アドバイザーコーナーでは貴重な情報を聞いて大変有意義でした。
2. 渋谷先生の講座は相変わらず新鮮なことばかり。
3. 本音トークは、前回よりも時間も長く、多くの情報を得ることが出来て満足しています。
4. スムーズに入場できたことと、最初の相談会がすごく助かりました。もっと多くの企業が来てくれればと思います。
5. ふみこんだ話が聞けて良かったです。
6. 給料やワークライフバランスについては、なかなか聞きづらいことを聞けたので良かった。
7. 第1部のマインドマップ内定術は、前回とは違った内容で新鮮な感じで良かった。
8. 普段聞けないことなど、とても濃い内容で聞けて良かった。
9. 労働組合という視点から見た「就職活動」は新鮮でした。
10. 外からでは見えなかった、大変さなどが聞けて良い経験となりました。
11. 主催が企業や内定者団体の場合と違い、コーディネーターからの質問も、回答される方々の答えも一味違ったも

「原子力防災計画の見直しに係る提言」を道に提出

「避難道路の確保・代替道路の整備」など4課題12項目

連合北海道は1月20日、道に対して「原子力防災計画の見直しに係る提言」を提出した。連合北海道は出村事務局長、坪田

総合政策局長、永田組織労働局長が出席。道側は高原副知事をはじめ、池田原子力安全対策担当局長らが出席した。

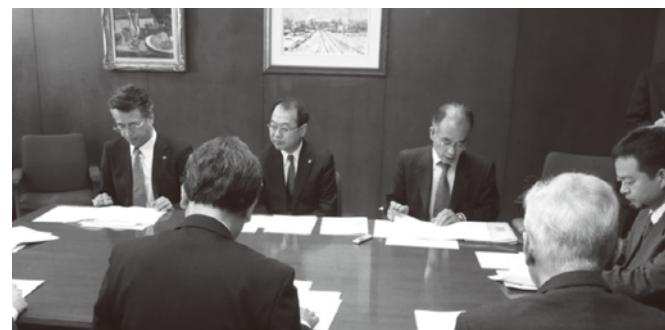
提出した提言は、昨年11月に泊発電所周辺をはじめとして、国が示した緊急防護措置区域(UPZ)の30キロ圏内に限定せずに後志管内の19町村に赴き、現地調査やヒアリングを実施して寄せられた原子力防災計画の見直しに係わる現地の状況や多くの意見、要望に基づいたもので、避難道路の確保、代替道路の整備をはじめとして4課題12項目に及ぶものとなっている。

出村事務局長が提言を高原副知事に提出した後、坪田総合政策局長が「避難道路の確保・代替道路の整備」、「市町村に対する支援の強化」、「被災者支援策の充実」、「実効ある原子力防災計画の策定」の4つの課題ごとに地域の意見、要望を交えながら補足説明した。

坪田総合政策局長は避難道路については民間委託が行われている現状から、「非常時の体制に不安を持っている自治体が多い」との声を伝えた。また、市町村支援については、どこの自治体でも聞かれた意見だと、「専門的知識がない自治体ではあらたに原子力防災ということになれば、これまで以上の道からの物的、財政的支援は欠かせない」と指摘。

さらに、災害拠点病院についても国からの施設整備に係わる財政支援は不足しているとして、「強力な支援が必要」と求めた。最後に、防災計画の見直しに当たって、「地域住民にとつては今まで全く考えていない事故が福島で発生した。

その不安を念頭に、緊急防護措置区域(UPZ)の圈域設定



を考えてほしい」と強く求めると共に、広域的な被災者支援が必要だとして、「札幌、小樽といった都市の役割を計画に明確に位置づけるべきだ」と指摘した。

高原副知事は、防災計画の見直しにあたって有識者専門委員会で課題抽出作業をすすめてきたことや国への要望など、これまでの道としての取り組みを説明した後、現地調査を踏まえた連合北海道の提言を受け止め、具体的には後日、文書で回答したいと述べた。

連合北海道としては文書回答をふまえ、課題によってはあらためて申し入れることや、2月13日に実施される平成23年度北海道原子力防災訓練の際に調査活動を行うなど、今後も、道の原子力防災計画の見直しを注視していく。

〈この記事のアドレス〉 http://www.rencho-hokkaido.gr.jp/report/2012012001_yousei_atomic-prevention.html

函館市への「2012年度・要求と提言」を提出 函館地区連合 市予算・政策に対して要請

函館地区連合は1月23日、2012年度における函館市の予算・政策に対する要請書提出を行った。

東日本大震災の影響がまだ引き続き厳しい経済・社会環境下での要請は、雇用問題を始め、防災、エネルギー、教育、食、交通対策、福祉・保険・介護と多岐に渡るものに加え、各産別・単組から予算編成へ向けて出された意見・要望・提言等々も書き込まれた内容の厚いものとなった。

要請行動には、会長・会長代行・副会長・事務局長、更には政策委員会事務局等々9名が参加。

冒頭、工藤函館市長に要請書が手交され、荒木会長からは「厳しい社会環境と函館市の経済状況を受け止めつつも、雇用情勢の改善と安定に向けた取り組みは急務である。市内の労働者の労働条件が依然として低水準であることをしっかりと受け止め、広範多岐にわたる要請ではあるが、充分に受け止めを願いつつ、今後の市政運営及び2012年度函館市予算への反映をお願いしたい。」と挨拶が行われた、函館地区政策委員会・隼人事務局次長から要求内容のポイントについての説明と、各副会長からも重点項目に対する質問・要請が行われた。

連合側の要請を受けた工藤市長は、「求める市政は、市民の手によって進められる市政づくりであり、将来を見据えた具体的な対応を行っていきたい。防災・エネルギー政策についても、今日の状況を踏まえ、中央・北海道に対する要請行動を



積極的に行うと共に、市民の生活を守るために取り組みについて強化をして行きたい。

更に、若年層を中心とする雇用対策については、様々な課題は有るが体制上の課題・問題として受け止めた積極的な対応を行っていく。連合から提出された要請書については、誠意をもって文書にて回答を行いたい」と各課題について触れ、後日文書にて回答を行うことを約束した。

今後は、回答をうけた後、政策委員会を再度開催し、具体的前進へ向けた部局交渉等を実施していくこととなる。

また、函館地区連合の要請に先立った1月20日(金)、函館地区高齢者退職者連合(函館地区高退連)による函館市へに対する要請行動が行われた。

函館地区高退連の予算・政策に関する要請は例年行われ

函館地区高退連の予算・政策に関する要請は例年行われているものであるが、当日は、高退連三役をはじめ幹事等21名が参加し、函館市長との意見交換も含めて2時間に渡って行われた。

函館地区高退連の要請内容は、(1)国民保険料の地域格差の是正と料金の引き下げ(2)医療制度改革法案の早期成立と後期高齢者医療制度の廃止に向けた意見反映(3)安心して暮らせる年金制度の確立(4)高齢者・障がい者にやさしい街づくりの推進(5)高齢者を含めた雇用制度の促進(6)市電・市

バスの高齢者半額助成の継続(7)生涯学習の充実(8)災害対策の推進(9)函館市に医学部の設置等々、生活基盤を基軸とした様々な要請内容となっている。

要請書の手交後の意見交換では、多くの幹事からの切実な現実に基づく発言や工藤市長の積極的な発言もあり、当初予定時間を大幅に超えて行われた。

〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012012301_yousei_hakodate.html

当事者として女性の生の声を 「2012 北海道ブロック女性会議」開催

「2012 北海道ブロック女性会議」が1月15日、自治労会館で開催された。

この会議は、1~2月にかけて、連合本部が全国10ブロックを対象に男女平等課題推進のために開催するもので、各産業別組合や地域連合の女性担当役員が参加対象となっている。

会議では、連合本部総合男女平等局の中島圭子総局長と菅村裕子部員から春季生活闘争方針及び女性参画について提起され、そのあと連合北海道男女平等局渡辺直志局長(副事務局長)から連合北海道の取り組みについて提起があった。



中島局長からは、女性が当事者として生の声をあげないとリアリティのある要求にならないため、①とにかく女性が集まって働きやすい職場をつくるためには何が必要か話し合い、要求をまとめること、②労使交渉・労使協議の場に女性が出て直接訴え、要求すること、③として②を可能にするためには、労働組合における女性参画が重要であることが力説された。

後半の意見交換では、世帯主要件による賃金(手当など)格差や非正規労働者の貧困問題、母性保護・保障の権利、保育の問題などが話し合われた。また、「男女平等参画」は「男女が支え合う=どちらかがどちらかに依存する・頼る」という意味合いが含まれているため、連合は「男女平等参画」=「男女が平等に同じ立場で生きる」ことをめざしていることも確認された。

女性担当役員が対象となっている会議ですが参加者が例年より多く、男性6名を含む41名、8産別6地協・地区連合から職場の実態交流、女性参画の状況などについて深みのある意見交流ができたことも含め、非常に有意義な学習会となった。

〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012011501_jyoseikaigi.html



2月の主な動き

- 労働相談ダイヤル 1日(水)～3日
- 青年委員会スプリングフォーラム 4日(土)13:00／かでる27
- 交通・運輸部門連絡会 7日(火)10:30／連合北海道会議室
- 中小・パート労働条件委員会 7日(火)13:30／連合北海道会議室
- 第3回エネルギー・環境政策委員会 8日(水)13:30／ポールスター
- 情報・サービス部門連絡会 8日(水)13:30／連合北海道会議室
- 資源・化学・エネルギー部門連絡会 8日(水)16:00／ほくろうビル会議室
- 北海道ブロック代表者会議 9日(木)13:30／ポールスター
- 流通・食品・建設・一般部門連絡会 10日(金)13:30／連合北海道会議室
- 金属・機械部門連絡会拡大幹事会 11日(土)15:00／登別市
- 北海道原子力防災訓練調査 13日(月)／俱知安町、他
- 第3回中央執行委員会 16日(木)13:30／総評会館
- 第1回最賃対策委員会 20日(月)13:30／連合北海道会議室
- 第5回執行委員会 22日(水)10:30／連合北海道会議室
- 第3回地協事務局長会議 22日(水)13:30／連合北海道会議室

イベントカレンダー

- 道議会民主党との政策協議 23日(木)8:00／ガーデンパレス
- 第4回エネルギー・環境政策小委員会 23日(木)10:00／ガーデンパレス
- 北海道ブロック政策担当者会議 29日(水)13:30／ポールスター

春季生活闘争ブロック討論集会日程

- 留萌地協 2月4日(土)13:00／留萌産業会館
- 上川地協 2月4日(土)13:30／トヨーホテル
- 後志地協 2月4日(土)14:00／小樽経済センター
- 十勝地協 2月4日(土)13:00／ホテル大平原
- 空知地協 2月4日(土)13:00／岩見沢コミュニティプラザ
- 宗谷地協 2月18日(土)13:00／ホテル豊富
- 釧根地協 2月18日(土)13:00／アクアーベル
- 胆振地協 2月18日(土)13:30／苫小牧市労働福祉センター
- 日高地協 2月18日(土)13:30／新ひだかコミュニティセンター
- 網走地協 2月25日(土)13:00／サンライフ北見